

新規 注射オーダー(外来)

登録 キャンセル 薬剤追加 薬剤削除 RP複写 RP削除 加算表示 クリア

2008/03/06 ~ 2008/03/06
 並び替え 展開 補助情報 禁忌

登録方法 予定入力 控え 出力なし

診察室 中央処方室
 ルート入力 漢字入力
 カレンダー起動 使用量オプション

Rp	薬剤名	使用量	単位	コメント
Rp01	抗生物質A			

注射

添付文書改訂「劇症肝炎」
 肝機能検査が必要です

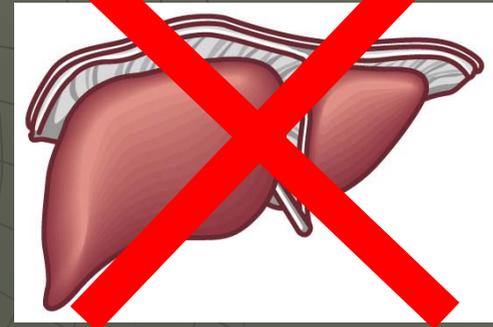
【事例6の概要】

- ◆ 処方オーダーリングシステムではチェックできない「患者持参薬」と「入院後の処方薬」の相互作用を、病棟薬剤師への周知徹底と、持参薬点検業務を通じて回避できた事例。



【安全性情報の概要】

- ◆ 肺動脈性肺高血圧症に適応を有する新規採用薬Aと、経口血糖降下薬Bを併用すると肝機能検査値上昇の発現率が2倍に増加するため、添付文書では併用禁忌と記載されている。



【事例6の経過-1】

2月16日

- ・ 薬事委員会にて肺動脈性肺高血圧症治療薬Aの採用を決定。
- ・ 肺動脈性肺高血圧症治療薬Aに対する併用禁忌薬剤に該当する経口血糖降下薬Bを処方オーダリングシステム上で併用不可の措置として登録。
- ・ 毎朝行っている薬剤部全員ミーティングにおいて、医薬品情報室勤務の薬剤師より、両薬剤が併用禁忌であり処方オーダリングシステムでチェックできないため病棟薬剤師による持参薬チェック時の確認が重要なことを周知徹底。

【事例6の経過-2】

5月31日

- 病棟薬剤師は、受け持ち患者で持参薬として当該経口血糖降下薬Bを服用中であることを把握。肺動脈性肺高血圧症治療薬Aが初めて処方されたことを患者説明の準備中に気づき、併用禁忌の組み合わせであることを処方医に連絡。



- 主治医は、持参薬である経口血糖降下薬Bの一時中止を指示。

院内の医薬品安全性情報業務

- ◆ 安全性情報の収集
- ◆ 安全性情報の整理・保管
- ◆ 安全性情報の評価・解析
- ◆ 安全性情報への対応
(具体的な措置の実施)